



輝く笑顔と希望を胸に！

平成 22 年 成人式



▲式典は協力員のみなさんにお手伝いいただきました



▲お礼の言葉を述べる福岡敬士さん



▲記念品を受け取る福本拓生さん



▲交通安全宣言をする安田一平さん

287 人が 晴れて 大人の仲間入り



式典の最後には、福岡敬士さん（宮園）が「子どもがこうして成人式を迎えることができましたのは、私どもを支えてくれた両親や家族、導いてくださった先生方、そして地域の方々、共に歩んだ仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、成人としての自覚と責任を持って、力強く生きていくことを誓います」と笑顔で誓いの言葉を述べました。

式終了後は、ロビーやホール入口で友人や家族等とにこやかに記念写真を撮ったり、久しぶりに会う旧友と談笑する姿が見られ、輝く笑顔と希望を胸に大人への第一歩を踏み出しました。

1月11日、成人の日に町文化会館で「平成22年益城町成人式」が行われました。

町内の今年の新成人者は287人（昨年より86人減）で、そのうち251人が色艶やかな晴れ着や羽織はかま、スーツ姿で式に出席しました。

式では、国歌斉唱、成人者報告に続き、住永町長が「皆さんは、今や法的にも重要な国家の一員として、貴重な権利と義務を与えられました。個人として社会に対しての責任ある行動が求められ、期待もされています。次の時代を担う大切な人たちであり、明日の社会を明るくするための原動力となられることを期待します」と式辞を述べました。

続いて成人者を代表して、福本拓生さん（小池秋永）に町からの記念品が贈呈されました。また、安田一平さん（広崎2町内）が「私たちは、新成人として自覚と責任を持ち、交通安全を自分自身の問題としてとらえ、『交通ルール』を守り、『交通マナー』の向上に努めま」と交通安全宣言をしました。